

## 第1回サイエンスレクチャー

4月8日に第1回サイエンスレクチャーを行いました。サイエンスレクチャーとは校外での研修などに参加した生徒が参加していない生徒に対して、研修で学んだことを報告する行事です。

1回目では、令和6年3月10日に文部科学省の講堂で開催された「高校生による科学的な探究活動の意義と課題の共有～SSH校での課題研究の振り返りを通して～」に参加した生徒が報告をしました。

なお、文部科学省での発表は、国立教育政策研究所プロジェクト研究「新たな学びの実現に向けた教育課程の在り方に関する研究」の拡大研究会であり、レクチャー当日はプロジェクト研究の主催者である国立教育政策研究所教育課程研究センター基礎研究部統括研究官 松原憲治様と文部科学省初等中等教育局視学官 藤枝秀樹様にご来校いただきました。

### 【「高校生による科学的な探究活動の意義と課題の共有」に参加した生徒へのインタビュー】

#### ○「高校生による科学的な探究活動の意義と課題の共有」に参加してみてどうでしたか？

- ・ 発表の際に自分の発表に共感してくれる人が多く、また他の人の発表を聞いた際に自分にしかないと思っていた境遇が他の人にもあったのだと気づくことができた。
- ・ 多くの高校生の発表を見学して同じ悩みを持っているのだと共感できる部分が多かった。

#### ○この活動を通してどのようにiコンピテンシーが成長したと思いますか？

- ・ わかりやすく伝えるために発表スライドなどを作成していく中で、論理的思考力を育むことができた。また、先生方と意見を出し合いながら準備をしてきたことで多くの人と関わりながら実行していく力が高くなった。
- ・ 他校の生徒や先生と話すことで発表内容の構成の大切さを学んだ。他校の生徒の発表を聞く際に発表の要点などを見極めることで論理的思考力が身についた。

#### ○後輩に伝えたいことはなんですか？

- ・ コンテストの結果等で探究活動の価値を決めるのではなく、コンピュータが少しでも使えるようになったとか、新たな知識を得たことなどに焦点を当てて活動を有意義にしてほしい。班員全員が意見を言い合えるような環境を作ることを大切にしてほしい。
- ・ 集団で1つものを作り上げるのに、適切な役割分担を考えることや意見交換をしないといけない。いきなり難しい研究の話をするのではなく、簡単なことから話していった親睦を深めたいので探究活動に取り組むといい。

